

『まいごばなし』

※スパークスのボトムアップ・リサーチを通じて、
MY小話として舞妓さんが日本株の情報をお伝えします。
スパークスの日本株の情報発信レポート



第31号(2010年2月1日)

「切れ子と不人気株とボトムアップ・リサーチ」

「切れ子」、という言葉をご存知でしょうか？

切れ子は、製造過程で折れたり形が崩れた「明太子」や「たらこ」のことです。かつては業務用が主で、一般への販売は多くなかったそうですが、私たちの嗜好や経済状況の変化を受けてか、格安に買えるということで、最近は通販やインターネットショッピングで人気の品になっているそうです。

“見た目”ではなく味に価値を置く人にとっては、味が同じで安く買える切れ子は“お買い得”ということですね。



切れ子がどーんと約1kgで

●○円 !!

さて、今回は『**不人気株への投資とボトムアップ・リサーチ**』についてお話したいと思います。

不人気株を、投資対象候補と捉える理由

不人気株に投資機会があると考えられる理由は、市場から見放されているからこそ、十分に合理的なリターンを得られる可能性があると考えられるからです。

① 想定されるダウンサイドが限定的

不人気な株は、実際には優良な銘柄であっても、悪い情報が過度に広まっているため、追加で悪い話が出なければ下値は限定的となる可能性が高い。

② 期待できるアップサイドが大きい

将来何らかの要因で市場からの見方が変わり、悪い情報ではなく会社の実態価値に光が当たった際には、過度に低い評価が訂正され、株価が上昇する可能性が高い。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『まいこばなし』

スパークスの日本株の情報発信レポート



🌸 不人気株投資の難しさ

しかし、言うは易し行うは難しで、不人気株投資には難しい点があります。

それは、**他の投資家と反対の行動をする**という点です。他の多くの人がだめだ、嫌いだと、売却したり無視している時に、大切な資金を使って投資を行う必要があります。それは孤立した行動であり、もし自分が間違っていた場合には、周りから「ほら、だめだったでしょ」と言われるかもしれません。つまり、このような心理的抵抗を乗り越える必要があるのです。

🌸 心理的抵抗を乗り越えるために

では、どうやって心理的抵抗を乗り越えるのでしょうか。

それは、**会社の価値について強い確信を持つこと**です。そのためには**ボトムアップ・リサーチ**が非常に有効なのです。ボトムアップ・リサーチでは、経営者の考え、商品の魅力、工場設備等、様々な点について、直接見聞きしたことに基づいて判断を行うことができます。難しい判断を行うときに最も頼れるのは、自分や信頼できる同僚が直接見聞きした、手掴み感のある情報です。そのような情報を得るため、納得がいくまで調査を行い、多くの人が言っている悪い情報を踏まえても、会社に今の株価を上回る価値があり、いずれ周囲の見方が変わると確信できれば、心理的抵抗は乗り越えられるのです。

実際の現場では、他の投資家が言っていることが正しいと思えたり、判断をするための確信が得られない場合も多々あります。しかし、誰もしが容易に分かる“見た目”で判断するのではなく、その会社の価値を一つ一つ丹念に調べることでこそ、本当に“お買い得”な銘柄を見つけることができると思っています。

徹底的なボトムアップ・リサーチ



利益成長は？

経営戦略は？

業界動向は？



※当コラムは執筆者の見解が含まれている場合があり、スパークス・アセット・マネジメント株式会社の見解と異なることがあります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。